

催し物のお知らせ

													
MONDAY	TUESDAY	WEDNESDAY	THURSDAY	FRIDAY	SATURDAY	SUNDAY	MONDAY	TUESDAY	WEDNESDAY	THURSDAY	FRIDAY	SATURDAY	SUNDAY
1 ●●●	2	3	4	5	6 ●●●	7 ●●●				1 ●●●	2 ●●●	3 ●●●	4
8 ●●●	9	10	11	12	13 ●●●	14 ●●●	5 ●●●	6	7	8	9	10 ●●●	11 ●●●
15 ●●●	16	17	18	19	20 ●●●	21 ●●●	12 ●●●	13 ●●●	14 ●●●	15 ●●●	16 ●●●	17 ●●●	18 ●●●
22 ●●●	23	24	25	26	27 ●●●	28 ●●●	19 ●●●	20	21	22	23	24 ●●●	25 ●●●
29 ●●●	30 ●●●	31 ●●●					26 ●●●	27	28	29	30	31 ●●●	

博物館休館日 ● 史料館休館日 ● 考古館休館日 ●

八ヶ岳総合博物館 ☎0266-73-0300 fax0266-72-6119

休館日 12月1日(月)、8日(月)、15日(月)、22日(月)、29日(月)～1月3日((土)

1月5日(月)、13日(火)～16日(金)、19日(月)、26日(月)

※臨時休館します 1月13日(火)～16日(金)

八ヶ岳総合博物館 定例イベント

博物館の講座・イベントのお申込みは、
前月20日(休館日の場合は翌開館日)から電話で受け付けします。

さきおりでランチョンマット 【要申込】

昔ながらの高機でランチョンマットを織ることができます

◆日 時 12月6日(土)7日(日)、1月17日(土)・18日(日)

◆時 間 ①10:00～11:30 ②13:00～14:30

◆講 師 博物館はたおりボランティアねじばな

◆対 象 小学校高学年以上 ◆定 員 各回5名 ◆参加費 400円+通常入館料

ワクワク科学工作 【要申込】

12月14日(日)「X'masイルミネーション」・1月11日(日)「ふしぎな振動の世界」

- ◆ 時 間 10:00～11:30
- ◆ 場 所 ハヶ岳総合博物館
- ◆ 講 師 実験工作グループ
- ◆ 定 員 16名
- ◆ 料 金 300円 (要申込)

プラネタリウム一般投影 【要予約】

12月「ノーベル賞と天文学」・1月「レグルス食」

- ◆ 日 時 土曜日・日曜日・祝日
- ◆ 時 間 ①10:30～ ②13:30～
- ◆ 定 員 各回8名
- ◆ 料 金 通常入館料

※休止する事があります。予約時にお確かめください。



星空観望会 【要申込】

季節の星座探訪や大型天体望遠鏡による惑星・星団などの天体の観察を行います

- ◆ 日 時 12月13日(土)・1月17日(土) 19:00～20:30
- ◆ 場 所 北部中学校天体ドーム(北部生涯学習センター)
- ◆ 定 員 20名 ◆ 参加費 無料
- ◆ その他 雨天・曇天の場合は中止します。



昼間の星を見る会 【要申込】

昼間でも望遠鏡を使えば星が見られます

- ◆ 日 時 12月14日(日) 10:00～11:00
- ◆ 場 所 北部中学校天体ドーム(北部生涯学習センター)
- ◆ 定 員 20名 ◆ 参加費 無料
- ◆ その他 雨天・曇天の場合は中止します。

博物館で星空観望会 & 望遠鏡相談会 【要申込】

望遠鏡を使った天体観察を行います

- ◆ 日 時 12月20日(土) 19:00～20:30
- ◆ 場 所 ハヶ岳総合博物館 ◆ 講 師 市民研究員天文グループ
- ◆ 定 員 20名 ◆ 参加費 無料
- ◆ その他 雨天・曇天の場合は、室内で星・宇宙のお話をします。

古文書相談会 【要申込】

皆さんの古文書学習における疑問・質問などにお答えします。鑑定等はいりません

- ◆ 日 時 12月21日(日)、1月25日(日) 10:30~12:00
- ◆ 場 所 ハケ岳総合博物館
- ◆ 講 師 学芸員
- ◆ 参加費 無料

ハケ岳総合博物館 イベント

冬の探鳥会 【要申込】

- ◆ 日 時 12月14日(日) 9:00~11:00
- ◆ 場 所 神長官守矢史料館
- ◆ 定 員 20名 ◆ 参加費 無料
- ◆ 持ち物 歩きやすい服装、双眼鏡(ある方)
- ◆ その他 雨天の場合は中止します

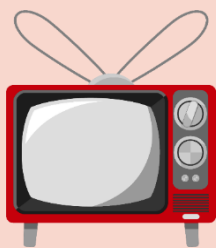


◆ロビーミニ展示「昭和レトロ展」 会期 12月2日(火)~12月14日(日)



- ◆場所 ハケ岳総合博物館
- ◆料金 通常入館料

昭和のお茶の間を再現します



関連イベント

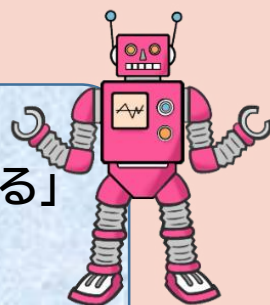
講演会「年をとるほど脳はよくなる」

講 師: 篠原菊紀さん(諏訪東京理科大学教授)

日 時: 12月7日(日) 13:30~15:00

※要申込 入館料

定員に達しました



松ぼっくりツリー & クリスマスオーナメント作り

まつぼっくりや木に色を塗ったり、飾りを付けたりして、自分だけのかわいいクリスマス飾りを作ろう。

- ◆ 日 時 12月20日(土) 10:00~15:00
21日(日) 10:00~15:00
体験時間内に、随時体験できます。
- ◆ 場 所 ハケ岳総合博物館
- ◆ 料 金 100円 (1個)
(別途通常入館料がかかります)

※ 申込み不要



八ヶ岳総合博物館特別展

「古墳の茅野 ー地域のなかの古墳ー」

(特別協力：独立行政法人国立文化財機構文化財活用センター・東京国立博物館)

会 期 開催中～12月14日(日)

◆会 場 八ヶ岳総合博物館 ◆料 金 通常入館料

東京国立博物館が所有する、高部の抱瘡神塚古墳(ほうそうがみづかこふん)出土資料が114年ぶりに里帰りしたほか、市内の古墳出土の遺物を多数展示しています。また、会期中は、尖石縄文考古館・神長官守矢史料館でも関連展示をしています。

講演会

「古墳時代の祭祀と諏訪上社」

- ◆日 時 12月14日(日) 13:30～15:00
- ◆場 所 八ヶ岳総合博物館
- ◆講 師 笹生 衛(國學院大學教授)
- ◆定 員 50名
- ◆料 金 通常入館料

八ヶ岳麓文芸館常設展

1月31日(土)～再開します

八ヶ岳総合博物館ミニ展示

「低緯度オーロラ写真展示」

会 期 12月16日(火)～2月1日(日)

- ◆会 場 八ヶ岳総合博物館
- ◆料 金 通常入館料

消しゴムハンコ

消しゴムハンコを使ってオリジナルの年賀状や、ポチ袋を作ります。

◆日時 12月27日(土) 10:00~15:00

28日(日) 10:00~15:00

体験時間内に、随時体験できます。

◆場所 八ヶ岳総合博物館

◆料金 200円 (ポストカード3枚とポチ袋1枚作れます)
(別途通常入館料がかかります)

※ 申込み不要



◆博物館のお正月

1月12日(月・祝)9時00分~正午



◆場所 八ヶ岳総合博物館

◆料金 通常入館料

・手作りおもちゃ

(オリジナルのメンコ・トコトコ午(ウマ))

・運だめしプラネタリウム

(あたりが出た方は自分の生まれた日の星空が見られます)

①9:15②10:00③10:45④11:30

・かるた大会

11時・11時30分 2回行います

参加賞あり

・ポップコーン

・「語り」おはなし会

①10:30~11:00 ②11:30~12:00(2回とも内容が違います)

・AR体験

・開運くじ

スタンプを4つ以上集めた方は、開運くじを引けます



書初め教室

諏訪ユネスコ協会共催 ※要申込

◆日時 1月4日(日) 10:00~正午

◆場所 八ヶ岳総合博物館

◆講師 平出信次(日本ユネスコ協会会員)

◆定員 20名

◆料金 通常入館料

◆持ち物 習字道具、書初め用紙、半紙

※ 申込み 12月20日(土)9時から電話受付
12月26日締切り



神長官守矢史料館 ☎0266-73-7567

休館日12月1日(月)、8日(月)、15日(月)、22日(月)、29日(月)~1月3日((土))
1月5日(月)、13日(火)、19日(月)、26日(月)

神長官守矢史料館 特別展 「古墳の茅野」関連展示

日時 開催中~12月19日(金)

守矢史料館周辺の高部区にも、独特な石室を持つ疱瘡神塚古墳をはじめとする多くの古墳があることが知られています。また、神長官裏古墳、神袋塚古墳など、近世・近代になって注目を集めた古墳もあります。本企画展では、狐塚古墳や頭無古墳の出土品を展示するとともに、守矢家に残された古墳に関連する記録類を展示します。

「古墳の茅野」三館まわって素敵なプレゼントをゲットしよう！

三館スタンプラリー実施中

八ヶ岳総合博物館、神長官守矢史料館、
尖石縄文考古館の三館をまわって
「古墳の茅野」の展示を見学をし、
3つのスタンプを集めた方には粗品を
プレゼントします

プレゼントがなくなり次第終了

※プレゼントは博物館でお渡しします



企画展 「午年の古文書」

- ◆ 期 間 12月20日(土)~2月23日(月・祝)
- ◆ 場 所 神長官守矢史料館
- ◆ 料 金 通常入館料

午

尖石縄文考古館 イベント

国宝「土偶」(縄文のビーナス)指定30周年記念事業 ～シンポジウム 尖石文化賞受賞者と語る「土偶とは何か」～

令和7年(2025年)は、国宝「土偶」(縄文のビーナス)が縄文時代の国宝第1号として指定を受けてから30周年という記念すべき年です。1998年にパリ日本文化会館で開催された『縄文展』(L'art du Japon des Origins)や2009年に大英博物館で開催された『土偶の力』(The Power of Dogu)でも人気を博し、世界的にも、土偶としては縄文時代を代表する存在となっています。

シンポジウムでは、縄文ブームを広くけん引する土偶について、「縄文時代当時にはどのような存在であったのか？」を、尖石縄文文化賞受賞者をはじめ、長野県や山梨県の研究者が意見を述べ合います。そして市民の皆さんには「土偶って何だろう？」と楽しみながら考え、親しめる機会とします。

日時:1月25日(日)13時～17時

(正午開場、受付開始)

場所:茅野市民館 コンサートホール

